

研究の名称

地域医療演習の評価及び教育手法の構築

1 オプトアウトの対象となる方

2025 年 9 月に臨床薬学演習の一環として薬学部薬学科 1 年生及び 3 年生を対象に「地域医療に関する演習」を受講した学生

2 研究の目的・方法・研究期間

【研究目的】

地域医療における薬剤師の活躍が期待されていますが、薬剤師の不足により活動が制限されている地域が存在します。これらを解決するためには薬学部生を対象とした地域医療に関連する講義や演習が必要です。私たちは 2025 年度 9 月に臨床薬学演習の一環として薬学部薬学科 1 年生及び 3 年生を対象に「地域医療に関する演習」を実施しました。この演習では、学生は地域医療に関するアンケートに回答し、演習内で発表資料を作成しています。そこで、今後の地域医療に関する演習方法の改善を目的として、本演習で得られたアンケート及び学生発表資料を用いて、学生の地域医療に関する意識や関心、本演習を通じた意識変化並びに演習の改善点を検討します。

現在、薬学教育において地域医療に関する教育は重要であるものの、これまでに薬学生の地域医療に対する認識や関心は十分に把握されていません。また大学教育における地域医療体験や演習の効果を評価した報告は限られています。そのため本研究は薬学生の地域医療に対する理解や関心の現状を明らかにするとともに、より効果的な教育方法を構築することで、今後の薬学教育における地域医療教育の充実にも貢献できると考えます。

本研究では、薬学部薬学科 1 年生及び 3 年生を対象に、2025 年度 9 月に実施した地域医療に関する演習で行われた事前アンケート、発表資料及び演習を実施した後に行う事後アンケートの結果を評価します。これにより本学薬学生の地域医療に関する関心及び意識変化、演習の課題や改善点を明らかにし、より効果的な地域医療演習の構築を目指します。

【研究方法】

本研究では本演習を通じて提出された、演習前アンケート、発表資料、演習後アンケートを用いた解析を行います。

【研究期間】

学長許可後～2027 年 3 月 31 日

3 利用又は提供する資料・情報の種類（診療記録等）

本研究では本演習を通じて提出された、演習前アンケート、発表資料、演習後アンケートを用いた解析を行います。

4 個人情報の保護の方法

被験者の方のプライバシーに細心の注意を払い、被験者情報は、氏名など個人を特定

できる情報と関連づけできないように加工した上で使用します。被験者の方の氏名などの個人情報が外部に公表されることはありません。

5 他の機関へ情報等を提供する場合の方法

他の機関へ情報等を提供することはありません。

6 試料・情報を提供する機関及びその長の氏名

該当しません。

7 利用又は提供を開始する予定日

本研究が本学学長によって承認された日から開始します。

8 研究責任者の所属・氏名

静岡県立大学薬学部・三浦基靖

9 あなたの求めに応じた試料・情報の提供の停止

被験者の方又は被験者の代理の方が、この研究のために結果が使用されることにご了承いただけない場合は、照会先までご連絡ください。

本研究への参加は任意（自由意思）によるものです。本研究へ参加しなくても不利益な対応を受けることは一切ありません。研究への参加は成績評価に関連しません。本研究への参加同意の撤回は、口頭又は書面によりいつでも可能です。その場合にも、不利益な対応を受けることは一切ありません。

10 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

その他、この研究に関するお問い合わせ、苦情等がありましたら、下記へご連絡ください。

静岡県立大学薬学部実践薬学分野 三浦基靖

電話（研究室）054-264-5234

メールアドレス：miuram@u-shizuoka-ken.ac.jp